

センター長挨拶

徐々に新型コロナウイルスに関する制限が緩和、「With コロナ」に向かいつつありますが、我々はまだ油断ができない状況です。皆様にも自粛を続けておられる方もあるかと拝察いたします。医療を守るための心がけに感謝申し上げます。「病院に持ち込みたくない」との思いで、私個人としては相変わらず自宅と病院、それに最低限の買い物程度の外出ですが、地域医療支援センターとして、ご施設にお伺いする試みを始めました。普段連携いただいている皆様にご挨拶し、連携における忌憚のないご意見、叱咤激励など「生の声」をいただければと思います。また、感染対策に留意した上でできる範囲で、ご施設のご様子、皆様の「息遣い」

を直接感じることができればと思っております。
よろしくお願い申し上げます。



地域医療支援センター長
山端 潤也

～皆様へのお願い～

紹介・逆紹介を推進しています。

当院へ初めて（久しぶりに）受診される際には、

紹介状

を持参いただくようお願いしています。

・治療経過を踏まえた医療の提供

・既治療も含めた治療方針検討による事故防止

等に繋がるものと考えておりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

紹介状・診療情報提供書あり

かかりつけ
医受診



当院受診

紹介状・診療情報提供書なし

当院受診

当院受診

地域医療支援センターから
【情報提供依頼】

お願いばかりで大変恐縮ですが、ご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

～新任医師紹介～

新たに赴任された医師を紹介いたします。

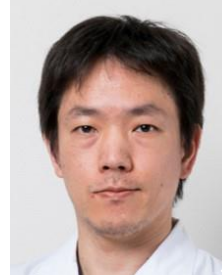
消化器系癌の早期発見、早期治療に取り組んでいます。能登の医療に貢献できるよう頑張ります。



内科医長
〔専門〕消化器、胆・膵

山宮 大典 やまみやだいすけ

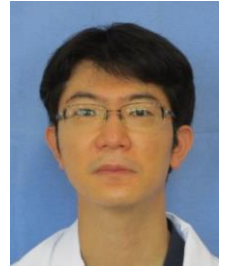
地に足つけて頑張ります。



脳神経外科医長
〔専門〕脳血管内治療

会田 泰裕 あいだやすひろ

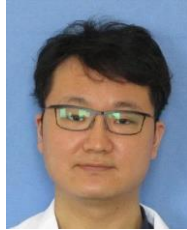
未熟者ですが、地域に貢献できるよう頑張ります。



外科副部長
〔専門〕消化器外科

新保 敏史 しんぼとしふみ

能登の地域医療に努めます。



泌尿器科医師
〔専門〕泌尿器科一般

八木澤 理人 やぎさわまさと

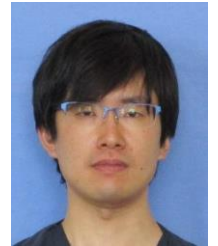
2回目の赴任となります。精一杯頑張ります。



小児科医師
〔専門〕小児科全般

中西 智樹 なかにしともき

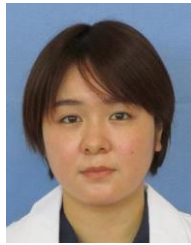
丁寧な診療を心がけます。



小児科医長
〔専門〕小児科一般

福田 隆文 ふくだたかふみ

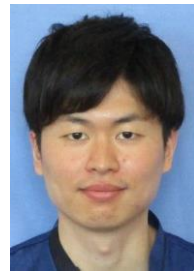
地域の医療に貢献できるように頑張ります。



形成外科医師
〔専門〕形成外科一般

古木 遥ふるきはるか

精一杯頑張ります。



精神科医師
〔専門〕精神科

前田 貴智 まえだたかとも

丁寧な診療を心がけます。



皮膚科医師
〔専門〕皮膚科一般

藤井 皓 ふじいこう

よろしくお願いいたします。



麻酔科医師
〔専門〕麻酔

伊勢 孔祐いせこうすけ

未熟者ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



小児科医師
〔専門〕小児科

田中 大貴たなかひろき

精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



精神科医師
〔専門〕精神科一般

北市 高之きたいちたかゆき

精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



放射線科医師
〔専門〕画像診断

大窪 昭史おおくぼあきひと

地域のみなさまに貢献できるよう、精一杯頑張ります。



整形外科医師
〔専門〕整形外科一般

岸田 晟利きしだまさみち



～脳神経外科からのご紹介～

専門誌「脳神経外科（医学書院）」において、「水頭症特集」企画を担当いたしました。



公立能登総合病院
脳神経外科医：左から
圓角、会田、喜多
(執筆者)

創刊50年を迎える専門誌「脳神経外科（医学書院）」の2022年第2号（3月発行）にて、「水頭症特集」の企画を担当いたしました（図1）。

水頭症は「脳脊髄液」という、頭蓋内を満たす液体成分が貯留することで、頭痛、認知機能の低下、歩行障害、排尿障害などが生じる病気です。治療法としてシャント手術や内視鏡手術という方法が確立しており、脳神経外科の中ではありふれた病気と言えます。

しかし、最近になり1世紀以上定説とされてきた脳脊髄液の産生・吸収のメカニズムが誤りではないかという証拠が出てきました。病気の土台部分の理解が根本的に変わリつつあることから、新たに「水頭症の現在」を見直す必要が生じていました。

私は、金沢大学で林 康彦先生（現金沢医科大学教授）とともに水頭症の内視鏡的治療に従事するとともに、水頭症研究の第一人者であった当院前院長・橋本正明先生（2015年4月逝去）にもご指導いただき水頭症の臨床研究にも携わってきました。橋本先生が亡くなられた後は、厚生労働省の「特発性正常圧水頭症研究班」にて後任の研究員を勤めてきました。

図1

今回専門誌企画に携わることができたことに、深いご縁を感じています。

本誌では18の項目について、国内トップリーダーの先生方に最新の知識について原稿をいただきました。私自身も、専門医が知っておくべき最新の治療機器の原理とIT時代における理想のデバイスに関する原稿を執筆しました。

専門誌のため一般の方が手に取られることはないかとは思いますが、ここ能登の地から、最先端の医療について発信が続いていることをお知らせしたいと思います。

脳神経外科
NEUROLOGICAL SURGERY

2
2022
Vol.50 No.2

特集 水頭症

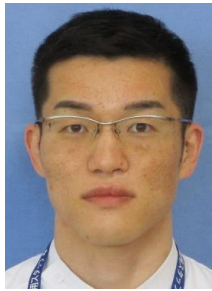
脳脊髄液動態への
理解と治療に迫る
[企画] 喜多大輔



脳神経外科
解剖を基礎にした
片側顔面けいれんの手術
[企画] 喜多大輔

医学書院

～研修医のご紹介～



初期研修一年目

白木 重光 しらしげみつ

今年から七尾に越してきました。

右も左も分からない環境の中、優秀なコメディカルの方々に支えてもらって一日一日を過ごしております。

温かな指導医の先生方にも恵まれ、丁寧なご指導のもと自分が成長しているのを感じられます。二年間当院で研修を積めば立派な医師になれると感じております。

目の前の患者様に対し全人的医療を提供できるような医療人になれるよう、驕らず謙虚に邁進していきます。至らないことばかりではありますが一生懸命頑張ります。

よろしくお願いいたします。



初期研修一年目

三島 啓太 みしまけいた

学生としての生活が終わり、医師として、社会人としての生活が始まりました。

右も左も分からず、大変多くの方にご迷惑をおかけしたと思います。しかしそのような状況の中でも指導医の先生方や看護師や検査技師の皆さま、事務の皆さま、その他関係者の皆さまは大変親身にご指導くださり、またサポートくださり少しずつではありますが、仕事に慣れてきたと思います。

まだまだ1人前には程遠い未熟者ではありますが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

地域から始まる地域包括型食支援！ ～「かにやしろえびノート」のご紹介～



歯科口腔外科 長谷 剛志

食べるという行為を多角的に支援する。そんな目的で「かにやしろえびノート」の作成に取り組みました。

食に必要な

か：環境。に：認知機能。や：薬剤。

し：心理。ろ：老化。え：栄養。び：病気

に着目し、食事に関する問題点の整理や本人の強みを見つけるノートです。

地域での食支援に目を向けるきっかけとしていただければ幸いです。

次号：詳細をご紹介します。乞うご期待！



小児科休日当番日のご案内

7月 10.18.31

8月 21

9月 11.19

脳神経外科輪番日のご案内

7月 2.9.10.16.18.23.24.31

8月 6.7.13.14.20.27.28

9月 3.10.11.17.19.23.24

～編集後記～

新たな年度が始まり、慌ただしく2か月が経とうとしています。遅くなりましたが、皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。読みやすく伝わりやすい「地域医療支援センターだより（通称：だより）」を心がけて発行していきたいと思っています。 ～鹿島～



担当者のつぶやき

我が家では越冬できたメダカたちが悠々と泳いでいます。中にはお腹が大きくなっているメダカも！？

メダカの飼育は、世間でもちょっとしたブームにもなっているようで、今後の成長が楽しみです。

～当院の基本理念～

「高度かつ専門的な医療と温かみのある医療サービスの提供で、
能登全域の住民の健康を守ります。」